

**四国中央市みらい創造支援業務
企画提案書作成要領**

四国中央市

「四国中央市みらい創造支援業務」企画提案書作成要領

企画提案書（以下「提案書」という）は、下記の要領に基づいて作成すること。

なお、提案書各項目について選考の評価を行う。

1. 作成にあたっての留意事項

- (1) 提案書には、別紙「企画提案選定基準表」の評価項目について記載すること。記載順は各項目順に従って、項目番号を付して記載すること。各項目において、評価を行う。
- (2) 用紙サイズはA4判を基本とし、ページ数の制限は設けないが、40分以内で説明すること。
- (3) 提案書は、紙媒体19部を提出すること。
- (4) 企画提案を評価する者が、特段の専門的な知識を有していなくても評価が可能な提案書を作成すること。なお、やむを得ず専門用語等を使用する場合には、一般用語を用いて脚注を付記するなど、職員が理解しやすいものとする。
- (5) 提案内容は、その考え方等について、文章、表、図等で簡潔かつ明瞭に記述すること。
- (6) 提案書の内容については、四国中央市みらい創造支援業務仕様書（以下「仕様書」という）の内容を十分に踏まえて、提案上限価格の範囲内で行うことを前提として記載すること。オプション等参考として示す場合は【参考】等明示し、混同しないように配慮すること。
- (7) 第2次審査において、提案者名は公表しないため、企画提案書には提案者名を表記しないこと。審査結果通知書（第1次審査）にて、当市が指定する表記（例：○社、△社、□社、…等）を使うこと。

2. 価格提案に関する明細書作成に当たっての留意事項

- (1) 様式は任意とするが、仕様書の業務内容ごとに応じた額が分かる形式とし、その積算の内訳を明記すること。
- (2) 価格提案書に追加提案項目がある場合は追加して記載すること。
- (3) その他、本業務の目的達成にあたり必要と思われる業務内容や効果的・効率的な独自の手法等があれば提案を行うこととする。

企画提案選定基準表

	評価項目	評価の視点	配点
企画提案書評価	業務理解	① 本業務の目的及び内容を的確に把握・理解しているか。	10
	業務遂行能力	② 本業務と同種の実績などから、本業務を遂行できる能力があるか。	5
	現状把握及び分析等	③ 現状把握、課題整理、分析等の手法は具体的かつ適切であるか。	20
	ワークショップの企画運営等	④ 効果的に市民等の意見聴取を行う企画となっているか。	20
	各種会議への助言等	⑤ 業務遂行に十分な知見、専門知識を有しているか。	20
		⑥ 本市での活動内容が明確で、本市の状況を踏まえた効果的な助言・提案が期待できるか。	
	シティプロモーション戦略策定	⑦ 市内企業や市民等の参画機会を十分に確保する方策となっているか。また、市への愛着等を深める仕組み等の工夫があるか。	60
		⑧ 戦略策定後、5年後を見据え継続的に地域住民や企業が主体となり本業務の目的達成に向けた取り組みが自走する仕組み作りができているか。また、継続的にその社会的な影響等を評価し、PDCAサイクルが回る仕組みとなっているか。	
		⑨ 前例にとらわれない新たな取り組みや事業の提案であり、心惹かれる内容となっているか。	
	広報・マーケティング戦略策定	⑩ 各広報媒体の特徴を捉え、相乗効果による効果的・効率的な情報発信につながる企画となっているか。	40
		⑪ 職員全員が広報媒体となるよう、そのための取り組みや仕組み等の工夫があるか。	
	DX推進戦略及び実行計画策定	⑫ 策定手法は合理的であり、本市のDX推進に寄与する計画策定が期待できるか。	60
		⑬ 市民等の利便性向上、職員の負担軽減の観点を意識した手法を盛り込んだ計画策定が期待できるか。	
キックオフイベント開催	⑭ 若年層の自発的な参加を促す工夫ができているか。また、地域の産業や自然を活用した当市ならではのイベントとなっているか。	35	
	⑮ 各種取材の獲得が期待できる話題性のある企画となっているか。		
価格評価	価格	⑯ 最低提案価格を基準価格とし、点数を配分する。 価格評価点 = (基準価格 ÷ 各社提案価格) × 30 点 小数点以下切り捨てとする。	30
	評価点		300